

100万本のばら市民会議  
門井善敬代表



私の住む地域では、「ふれあいばら祭り」を実施し11年目を迎えますが、「ばら」を通じて、地域のコミュニケーションが深まっていることを実感しています。市内各地の自治会などが「まちづくり」「ばらづくり」を推進すれば、「ばらのまち 福山」と地域のコミュニケーションアップが実現できると思います。皆さんも「ひとり一鉢」から「100万本のばらのまち」をめざしましょう。



栽培のリーダー養成をめざし、「福山ばら大学」を開設します。



みんなの「ばら」100万本プロジェクトが始まります



「ばらの育苗」を始める人に対し、補助金を交付

ばらの育苗を始める地域団体、NPOなどに対し、130万円を上限として補助する制度を創設します。「100万本のばら」をめざしてばら苗を育てよう」という意欲のある人を待っています。

市内に活動拠点を有する5人以上の市民団体に、**申請**5月31日(月)(必着) までに、所定の申込用紙を、協働のまちづくり課へ

「駅前大通りばらオーナー」を募集

福山駅前から野上町交番付近までを、ばらが咲き誇る「ばらの大通り」とするため、駅前大通りの歩道などに設置す

る大型プランターを管理する「ばらオーナー」を募集します。※設置時のプランター、腐葉土、ばら苗は市で準備します

**申請**5月31日(月)(必着) までに、所定の申込用紙を、協働のまちづくり課へ

「国道2号ばらオーナー」を募集

国道2号の植栽スペースにばらを植栽。国土交通省が実施している「ポランテアロード制度(※1)」を活用し、その管理と周辺の清掃が行える団体などを募集します。国道2号に多くのばらを植栽することににより、「ばらのまち 福山」をアピールしましょう。

※1 地域住民や地元企業と市および道路管理者が協力して道路美化活動を行うもの

**申請**(随時) 協働のまちづくり課

「ばらのイメージキャラクター」を募集

100万本のばらのまちづくりを盛り上げ、「ばらのまち 福山」の魅力を全国に発信する「ばらのイメージキャラクター」を募集します。採用者には賞金5万円を贈呈。特徴あるキャラクターで「福山」と「ばら」をアピールしませんか。

**申請**4月25日(日)(必着) までに、所定の申込方法により、協働のまちづくり課へ※FAX・メール不可

「福山ばら大学」受講生を募集

市内各地域における、ばら栽培のリーダー養成をめざし、「福山ばら大学」を開設します。

めぐろー 100万本のばらのまち 福山

知っていますか? 福山と「ばら」の歴史

1945年8月8日、福山市は、空襲により市街地の約8割を消失しました。その後、戦災からの復興を願い、現在のばら公園付近の住民が「花こそ心が和らぐもの、花を育てよう」と、行政と協働し1000本のばらを植えたことから福山の「ばらのまちづくり」は始まりました。まさにこれが、住み続けたいと思えるまちを築く、市民と行政の「協働」の原点と言える取り組みなのです。



「ばらのアクションプラン」の事業が始まります



市の花「ばら」をより一層福山を象徴する都市ブランドとするため、「ばらのアクションプラン」を策定しました。このアクションプランは、2009年度に立ち上げた「100万本のばら市民会議」からの事業提案や、市民の皆さんからの意見を基に、市制施行100周年となる2016年度に「100万本のばらのまち 福山」を実現するために策定した行動計画です。今後は、アクションプランに基づき、事業を実施していきます。皆さんも身近な事業から参加して、「みんなの「ばら」100万本プロジェクト」に取り組みしましょう。

協働のばら花壇整備事業を活用して花壇を整備 「森脇ふれあいクラブ」



私たちの「ばら公園」は御幸町森脇の子ども広場にあります。1995年に2人で始め、2000年に地域へ呼び掛けて12人集まりました。みんなで決めた合言葉は「楽しむ」。あれから10年、今ではメンバーも20人を超えました。ばら花壇を通じて、地域の人々で楽しく活動しています。

各種事業の申し込みについて

各事業の募集要領などを必ず読んで、協働のまちづくり課へ、申し込んでください。

▽募集要領・申請用紙などの設置場所：協働のまちづくり課、各地域振興課、各支所

※市HPにも掲載 **申請**協働のまちづくり課

(〒720-0056 本町1番35号 ☎928-1051 FAX 926-0490) kyoudoumo-machidukuri@city.fukuyama Hiroshima.jp